

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 26 年 9 月 9 日		
所属学部・研究科	国際協力研究科	1年次 (留学開始時点)		
留学先大学	フロリダ州立大学 (国名: アメリカ合衆国)			
所属学部・学科等名	International Relations			
在籍身分	Undergraduate (授業は大学院の授業を2つと学部の授業を2つ)			
留学期間	平成 25 年 8 月 日 ~ 平成 25 年 12 月 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: J1			
	ビザ申請先: アメリカ領事館			
	取得方法, 提出書類: 領事館 Web ページ参照			
	手続きに要した日数: 約1か月			
その他必要な事前手続き	予防接種の基準を満たしているか確認 (MMR を二回接種など)			
出国年月日	平成 25 年 8 月 6 日			
経路				
現地での出迎え	無し			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	一日留学生のみを集めたオリエンテーションがあります。			
帰国年月日	平成 26 年 1 月 6 日			
経路				
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	約 880,000	円	
	内訳	渡航費	約 300,000	円
		保険料	約 70,000	円
		教科書代(学費)	約 30,000	円
		宿舍費	約 300,000	円
		食費	約 180,000	円
		その他 ( 費)		円
( 費)		円		
( 費)		円		
<b>3. 授業について</b>				
2013 年 1 学期	8 月 日 ~ 12 月 日			

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	講義形式の授業が1つとディスカッション形式の授業が3つ
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
学術面に関する後輩へのアドバイス	わからないことは、授業後にクラスメートや教授に積極的に聞くこと。自分から動かないと誰も助けてはくれません。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約 55,000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	寮はキャンパス内にあつて便利だが、古いものが多い。キャンパスの周りにもアパートがたくさんあるので、自身で契約をしている留学生もいた。値段はそれほど変わらない。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	MMR2回 おたふく、はしか、など
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	基本的に風邪などの場合は、ドラッグストアで買えます。処方箋のいる薬の場合は、大学の保険に入っていたので、大学内の診療所に行き軽い診察を受けて処方箋をもらいました。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと		
(3) 危険を感じた地域, 状況		
タラハシーの北の、フレンチタウンという地域は危険と聞きました。学内でも夜の独り歩きは基本しないほうがいいと思います。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
キャンパスは広いので、自転車などがあると便利だと思いました。学校で、自転車の貸し出しを数台していたみたいなので、聞いてみるといいかもしれません。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 27 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 27 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院2年、就職活動を終えて、修論に取り組んでいる	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	就職活動が12月解禁だったので、2セメスターではなく、1セメスターのみの留学に変更して、1月の始めに帰国しました。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		

## 学習の概要に関するレポート

私は、学部の4年生の夏に大学院の進学が決まったので、その秋のHUSAに応募する前に、協定大学の方と連絡を取って、大学院の授業を受けられるかを確認しました。実際に、協定校の中には学部の授業しか受けられないところもあったので、大学院留学を計画している人はしっかりと確認をしてください。留学が決まってからは、保険・宿舍・VISA・授業選択などの締切りが短くて、どたばた準備をした記憶があります。保険に関しては、アメリカの大学はワクチン接種の基準が厳しくて、日本ではもう実施していないMMRというワクチン接種ができないというトラブルがあり、少し戸惑うこともありました。しかし、現地の職員の方に事情を説明して、個別のワクチンを接種することで認めてもらいました。寮に関しては、とくに問題なく手続きが済みました。VISAもオンラインでの提出書類が以外にも多く時間がかかりましたが、時間に余裕をもって行ったので問題は発生しませんでした。授業選択は、シラバスを送ってもらうなどして登録をしました。

次に、私はオーランド空港に到着し、現地の職員の方が作ってくれた留学生のためのFacebookグループで知り合ったドイツ人の人と落ち合って、レンタカーを借りてタラハシーに向かいました。私は寮に入居できる1日前に着いたのでその日はホテルを予約しておいて、そこに一泊しました。(寮に早く入れてもらうなどの融通は利きませんでした。)

学校はオリエンテーションから始まりました。そして、私は授業が始まる前に教授のオフィスに挨拶に行きました。先生は親切に迎え入れてくれました。講義形式の授業は、先生のプレゼンのファイルを学校のマイページ上に載せているのでそれをダウンロードして予習をしていくという感じでした。授業はノートを使う子もいましたが、ほとんどがパソコンを使っていました。私も書くよりタイピングの方が早かったので基本パソコンを利用しました。授業で提出するペーパーなどは図書館で印刷できます。(学生カードにお金をチャージして印刷) レポートなどは文章をチェックしてくれるところがあるので(予約必須)それを利用したり、友達に読んでもらったりしました。授業の予習量は大学院の授業は想像以上でしたが、時間がたつにつれ要領よく準備できるようになりました。(最初は量に圧倒されて無気力になりました。)

授業によって異なりますが、私が履修した授業は少人数制で、一人一人が授業に参加することが重要だったので、とても良い刺激になりました。マテリアルを配られて読んでからそれについて少し議論するときにも、人より読むペースが遅く出遅れたりしましたが、周囲の生徒に助けを求めることでなんとか理解できるようになりました。

大学の授業は本当に日本の大学とは異なっていて、最初はついていけるかな、と不安になりましたが、他の生徒と仲良くなってみると、意外にも私と同じようなことを考えている子もいて少しほっとしました。一人で悩まず、とりあえずクラスメートに自分から話しかけることがすごく大切だと思います。

## 生活の概要に関するレポート

フロリダ州立大学は、州都であるタラハシーという町にあります。高いビルやお店も少なくてのんびりとした田舎です。しかし、大学はコミュニティーカレッジを合わせて3つほどあり、学生の街といったイメージで広島大学とこの点では少し似ているかもしれません。

私は、キャンパス内にある **Rogers Hall** という寮で生活をしました。キャンパス内に住んでいても、キャンパスは広いので教室まで20分はかかりました。一年間行く人は自転車があると便利かもしれません。また、学校側が安い値段で貸し出しもしていました。（数に限りがあるので早い者勝ちといった感じ。）寮内は、オーブンやコンロ、冷蔵庫やベッドなど必要最低限のものはあります。しかし、シャワーカーテン・ベッドシーツや布団や食器や調理器具などは現地で調達しました。（**Rogers Hall** は二人1部屋なのでもしかするとルームメイトが全部持っている可能性もあります。私の場合はルームメイトが電子レンジをもっていて大いに助かりました。）生活雑貨などは少し離れたウォルマートですべて揃えました。100円ショップもあるので、お金をかけたくない部分はそこから調達をしました。

食料品については、近くに **Publix** という一般的なスーパーがありそこを利用していました。基本的にどこに行くのも車がないと不便な環境だと感じました。しかし、クルマ持ちの友だちがいろいろ連れて行ってくれたのでなんとかなりました。あと、日本食についてですが、はっきりいって日本食レストランはアメリカナイズされた日本食です。あと、アジアンマーケットはいくつかあって数倍の値段ですがある程度の日本食は手に入ります。ふりかけやパスタの素などは日本から持っていくことを勧めます。大学付近にはバーがありますが、日本と違って21歳からしかお酒は飲めないのです、21歳未満の人は入ることができません。しかし、友達の家でパーティをするという機会が多いので問題はないと思います。

最後に、気候については、10月くらいまでは夏です。しかし、11月になるとだいぶ涼しくて、12月は寒くなります。（ダウンコートまでは要らない）天気は基本晴れが多いですが、たまに雷がすごくなって学校から警報がでることも何回かありました。フロリダの法律かアメリカ全体の決まり事なのかはわかりませんが、雷がなっている間は学校のジムのプールが使えなくなったり、屋外のスポーツの試合が必ず中止になったりします。どんなに土砂降りでもサッカーの試合が中止にならなかったのに、雷が鳴り始めてからはすぐに中止になったのでその決まりを知りました。

タラハシーはすごく田舎だけど、学校の生徒はいろんな人種や国籍の人がいてとても多様性のある学校です。そんな環境だから、現地の生徒も自分を留学生（外国人）と扱うのではなく、同じ生徒として関係を築いてくれることを感じました。フロリダ州立大学で出会った人々、学んだことは私の人生の中で大切な思い出の1つとなったので、これから留学する人にとっても必ず素敵な思い出になることと思います。